



庄内大豆通信

第2号

平成30年5月22日

播種適期を迎えました!

庄内総合支庁産業経済部 農業技術普及課
TEL:0235-64-2103 FAX:0235-64-2104

**大豆の播種適期は 6月10日までです
適期播種で増収に繋がしましょう!
ネキリムシ対策を行いましょう!**

排水対策や土づくり肥料の散布を十分に行い、適期に播種を行いましょう。適期の播種は初期生育を確保する上で重要です。本格的な梅雨となる前に1回目の培土作業を行うためには、適期播種を行い、培土作業までに生育量を確保する必要があります。

1. 土づくり・耕起・整地・・・碎土率を高めましょう!

- 土壤pHが低い圃場では、耕起前に苦土石灰や炭カル等の土壤改良資材を施用し、土壤のpHを改善しましょう（投入目安：120kg/10a程度）。
- 連作圃場では地力が低下しています。堆肥（1t/10a以上）や発酵鶏ふん（100kg/10a程度）を投入しましょう。
- 耕起時の耕深は、15cmを目安とします。碎土率（直径1cm以下の土塊の割合）は70%以上が目標です。土塊が大きいと、出芽時の障害となります。また、土壌処理除草剤（特に粒剤）の効果が劣るので、碎土、整地を丁寧に行いましょう。

2. 施肥（基肥）・・・根粒菌が着生するまでのスターターです

○基肥窒素は、根粒菌が着生するまで大豆の生育を支えます。

基肥の10a当り施用量	
窒素	2～3kg
リン酸	6～8kg
カリ	10～12kg

大豆吸収窒素の内訳（試算）山形農試 1980年	
施肥由来	5%
根粒由来	58%
地力由来	37%

基肥窒素への依存度は5%ですが、初期生育には重要です。

3. 播種前の準備

(1) 播種量

○必要な播種量を計算し、種子は十分な量を用意しましょう（下表参照）。

表. 播種量の目安 参考百粒重は実測例

品種（参考百粒重）	播種量(kg/10a)	栽植本数(本/10a)	畦間×株間・1株本数
リュウホウ・エンレイ （中粒）（26g）	約 3.5～4.0kg	12,000～14,000	75cm×20～17cm・2本
リュウホウ・里のほほえみ （大粒）（34g）	約 4.6～5.3kg		

☆目安どおりの播種量になるように、播種前に必ず播種機を調整しましょう。
 播種が適期（6/10）より遅くなる場合は、目標栽植本数を多くしましょう。
 （15,000本以上/10a、畦間75cm×株間16cm程度に）

(2) 種子消毒

ネキリムシ類が多発生となっています（病害虫防除所 5/17）。

- 例年被害が見られる所では種子への薬剤処理、または、播種時に薬剤防除を行いましょう。成虫は広葉雑草に産卵するので、圃場周辺の雑草対策を徹底しましょう。
- 初期の害虫（ネキリムシ・タネバエ）と紫斑病は、種子に塗沫、粉衣処理をする薬剤で対策が可能です。剤により対象病害虫の範囲が違うので下表で確認しましょう。

薬剤名	対象病害虫
クルーザーFS30	ネキリムシ類、タネバエ、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ
クルーザーMAXX	ネキリムシ類、タネバエ、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、紫斑病、茎疫病、苗立枯病、黒根腐病、ハト、キジバト
キヒゲン	紫斑病、タネバエ、ハト
キヒゲン R-2 フロアブル	紫斑病、苗立枯病、タネバエ、ハト、カラス

4. 播種 播種適期：5月20日～6月10日

- 大豆は初期生育期間に湿害にあうとその後の生育にも大きく影響します。播種前後の天候にも留意しましょう。播種後3～4日、好天が続くような時に播種すると出芽苗立ちが良好になります。
- 播種深度（覆土深）が3cm程度になっているか必ず確認しましょう。浅すぎると干ばつ時に発芽不良になりやすく、深すぎると発芽が不揃いになったり、湿害を受けやすくなったりします。



5. 雑草対策・・・土壌処理除草剤

- 播種後に使用する土壌処理除草剤は播種直後～大豆出芽前に散布しましょう。噴霧器に詰まりがないかなどを事前に点検し、規定量が散布されるようにしましょう。
- 圃場が乾燥しすぎると効果が劣るので注意しましょう。乳剤では、登録の範囲内で希釈水量を増やし、ゆっくり散布しましょう。
- 降雨時または大雨前の使用は、薬害のおそれがあるので使用を避けましょう。
- ドリフトによる他作物への薬害を防止するため、散布時の水圧や風向き等に注意しましょう。

除草剤は、**希釈倍率・散布量・使用方法・使用時期**など、登録情報をよく確認して使用しましょう。

<春季農作業事故防止運動強化月間 4/10～6/10>

STOP！農作業事故 無理せずゆとりある作業を心がけましょう。